

第1回 学び続ける教師として

-今日の学校教育、教師の役割、  
教師の専門性-

## 教師の役割



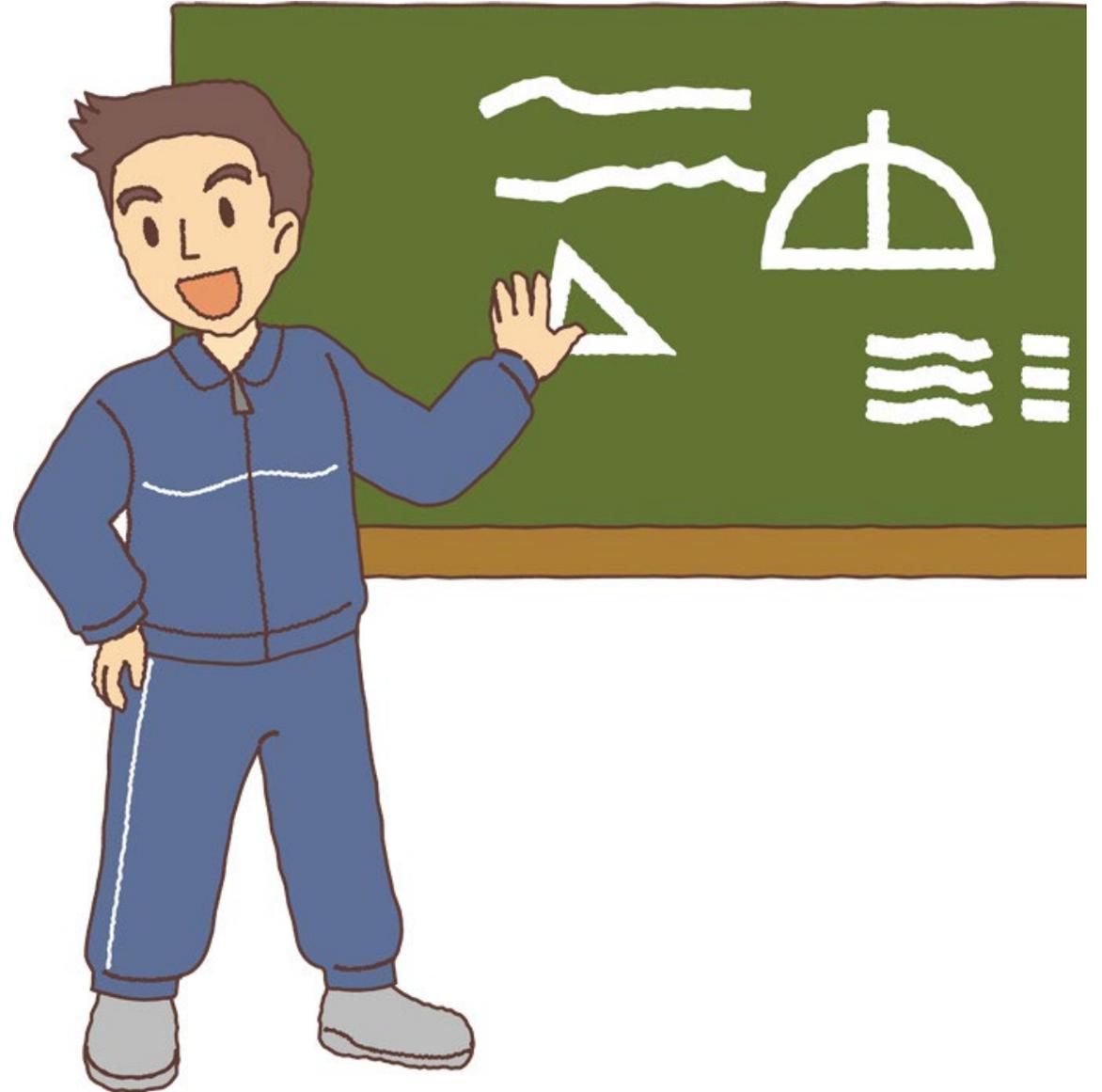
## 教育実習生の 役割

「**教育は人なり**」とよくいわれます。これは、学校教育の成否は教師にかかっているということを意味しています。

- 例えば、質の高い教材を使っているとしても教え方がわるければ、その教材の価値を引き出しているとはいえません。また、生徒たちにとって貴重な体験を得られる機会があっても、教師自身が**目的意識をしっかりと持って実施**しなければ、教育的な効果は期待できないでしょう。

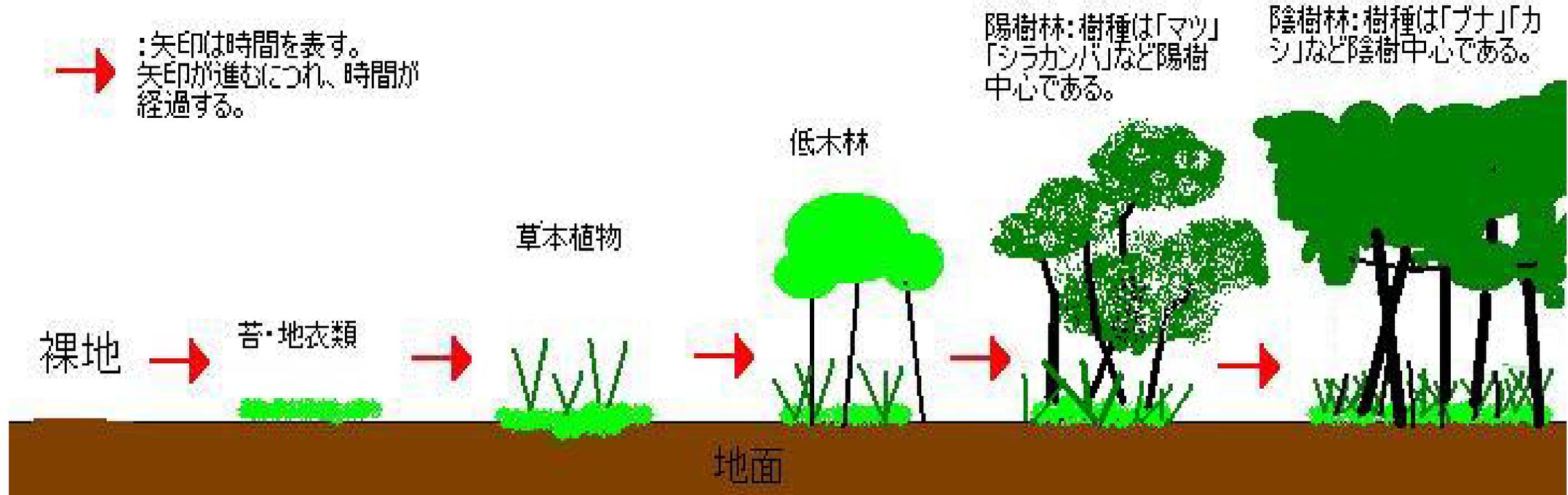
# 教師の仕事

責任が重い教師の仕事ですが、それだけにやりがいも十分あります。例えば、どうやったら生徒たちに分かってもらえるのかを考えながら苦勞して教材を作った結果、分かりやすかったと生徒に言ってもらえたときなどは、非常に嬉しいはずです。



# 教師の魅力

生徒の成長を間近に見られることも魅力の一つです。苦勞して指導してきた生徒の立派に成長した姿が見られたときは、感慨深いものがあるでしょう。



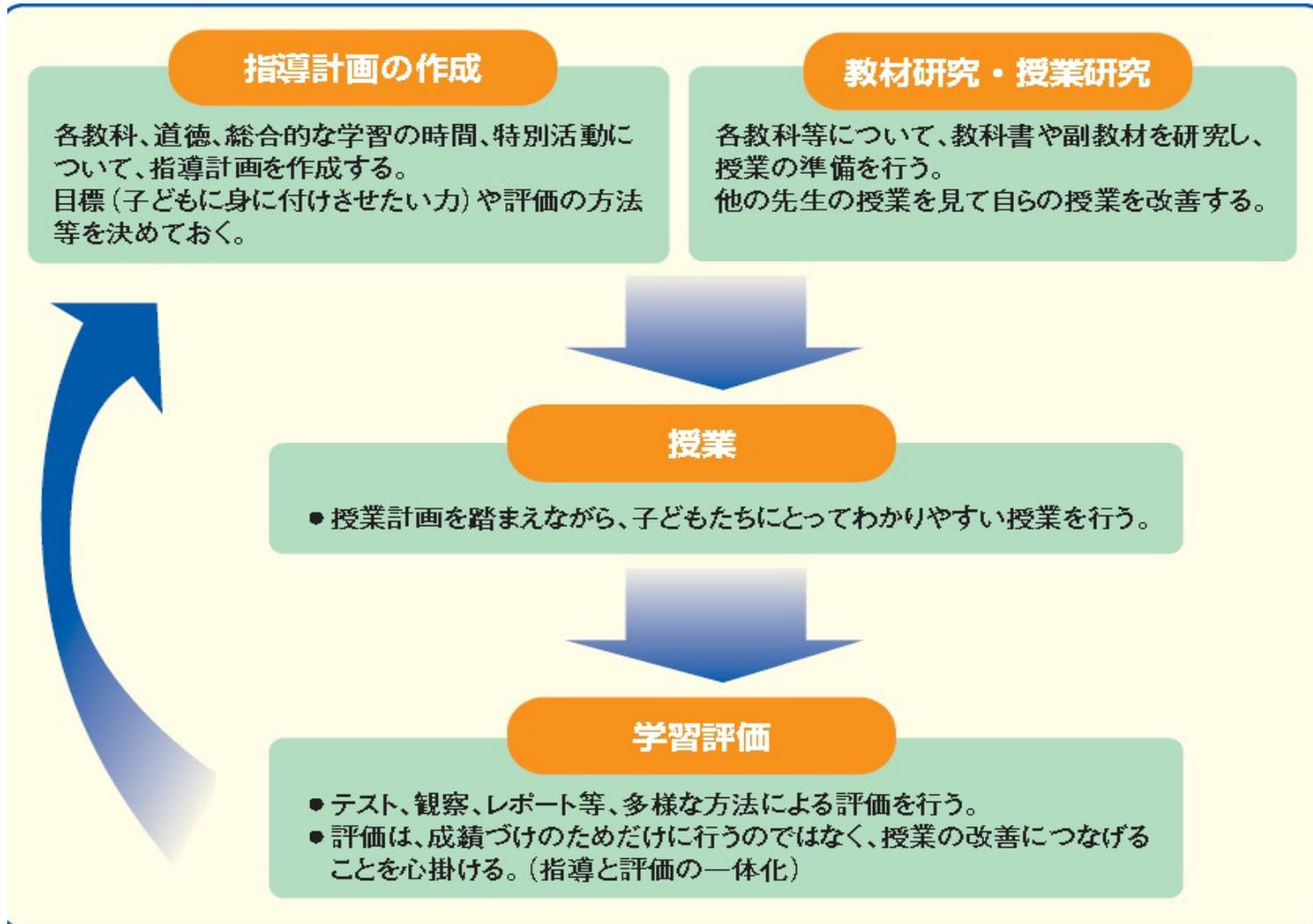
# 教師とは

・教師は、「子どもが好き」であることは必須です。しかし、「子どもが好き」だけでは教師ではないでしょう。

- ①教師として使命感があること
- ②児童生徒への教育的愛情があること
- ③指導力や児童生徒理解力があること
- ④教科に関する高い専門性
- ⑤豊かな人間性

などが求められていると考えます。

# 教師の主な仕事（教科指導）



# 教師の仕事2

- 学級経営・生徒指導・進路指導

## 学級経営・生徒指導

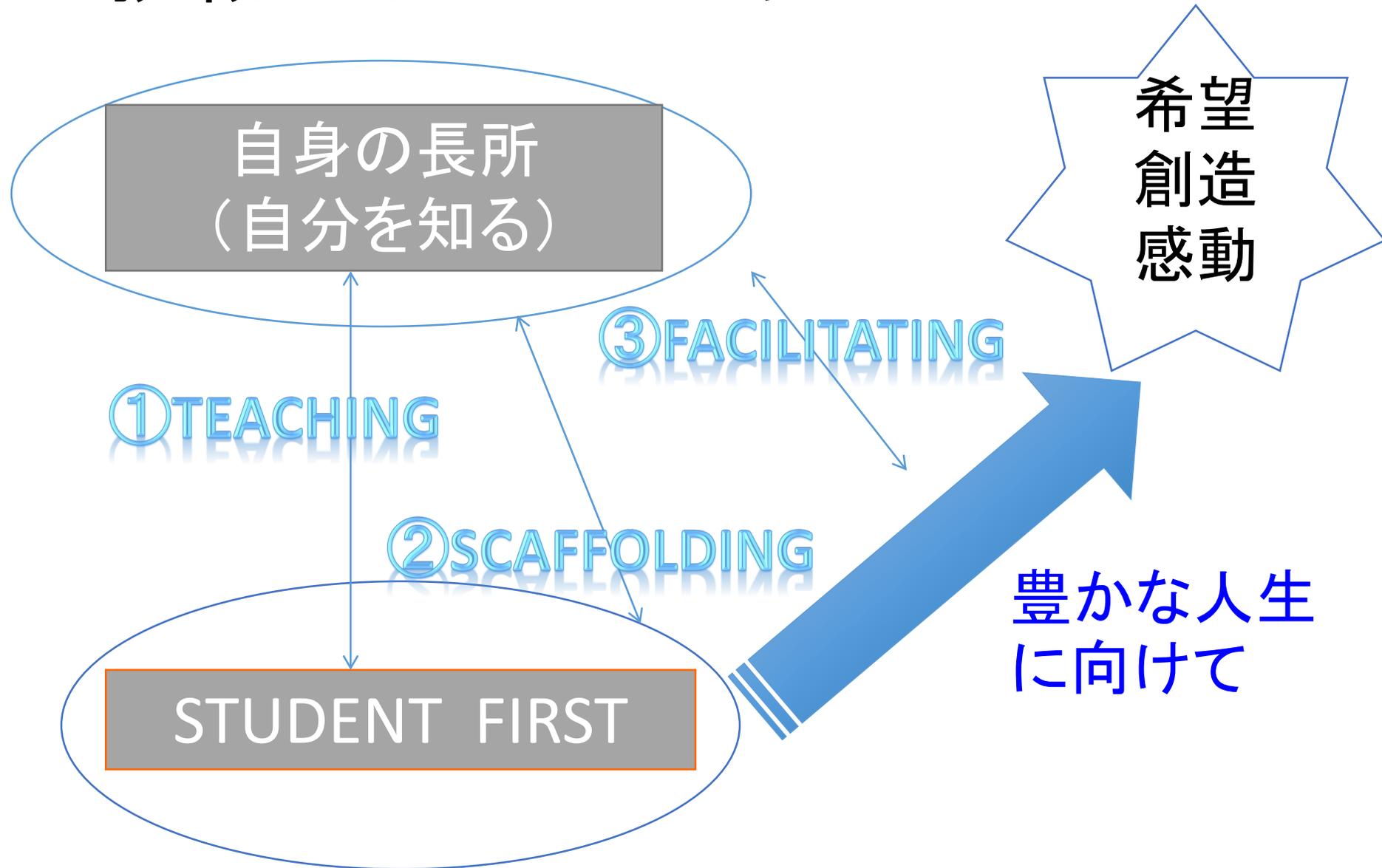
- 朝の会やホームルームの実施
- 面接等の方法で、子ども一人一人の様子を把握
- 問題行動への対処
- クラスの活動記録の作成
- 学級通信の作成

## 進路指導・キャリア教育

- 進路相談
- 進路情報の収集、整理
- 総合的な学習の時間や学校行事における  
職場体験・インターンシップ等の実施

- 部活動計画・指導
- 大会の引率

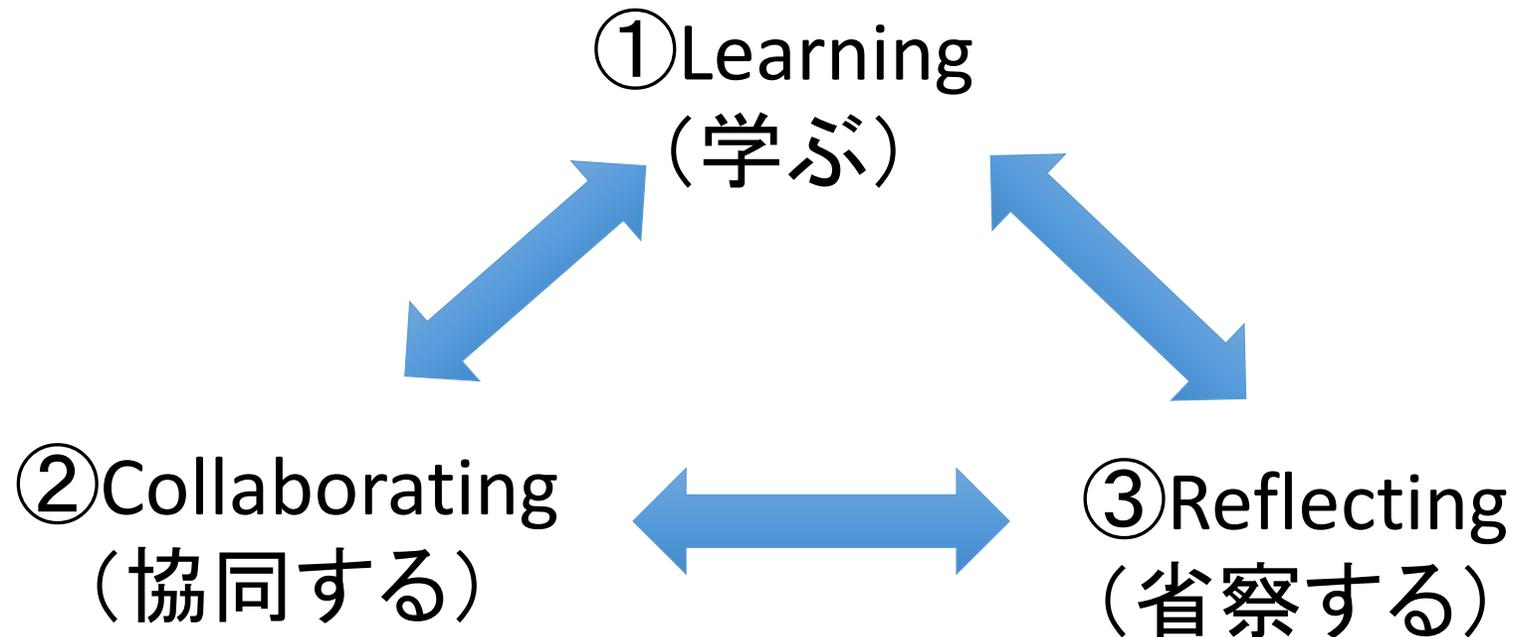
# 教職マインド&スキル



# 教職マインド&スキル

学び続ける意志・意欲・興味

指導TEACHING・支援SCAFFOLDING・促進FACILITATINGの矢印  
を太く、強く、円滑にするために



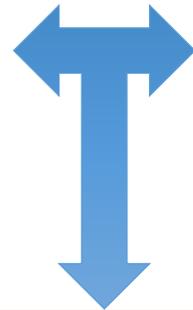
# 現在の学校の構図から、これからの社会の構図へ

学校教育目標の実現

アカウンタビリティ  
(説明責任)の履行

学校改善

教育水準向上



PDCAサイクルの循環

個々の教師の幸福の実現

個人と社会の幸福の実現(Well-Being)の考察、  
その先の実践へ

## 問い

では、教育実習にあたり自分は、教師として生徒、学校、地域社会に対して**何ができるか**？ 目的意識を確認してみよう！